

卵用名古屋コーチン飼養管理マニュアルを改訂

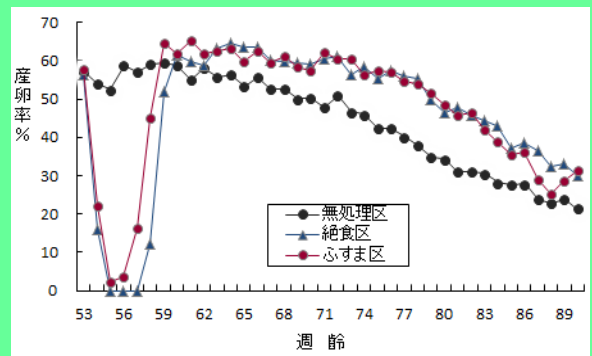
～新「卵用名古屋コーチン」の標準性能や誘導換羽技術等の最新情報を記載～



新「卵用名古屋コーチン」の標準性能

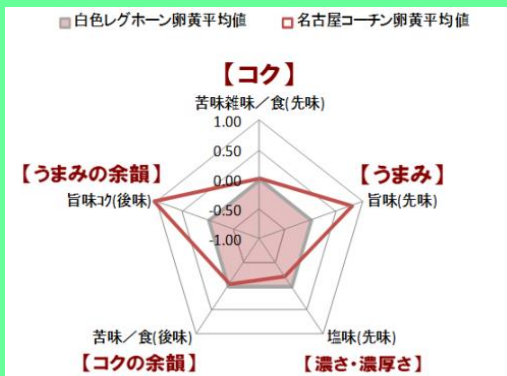
育成率(150日齢)	(%)	99	
生存率(450日齢)	(%)	95	
体重	150日齢	(g)	1,900
	300日齢	(g)	2,480
50%産卵日齢	(日)	175	
平均卵重	(g)	58	
H D産卵率	(%)	71	
日産卵量	(g)	41	
飼料摂取量	(g)	116	
飼料要求率		2.8	

低エネルギー飼料を用いた誘導換羽技術



誘導換羽技術は、人為的に鶏を休産させ卵殻質を改善させる技術です。これまでは、絶食させる方法が一般的でしたが、アニマルウェルフェアの観点から、絶食ではない低エネルギー飼料（ふすま）を給与させる方法を用いても、従来法と同等の効果が認められました。

卵黄の味覚特性



「うまみ」に優れていることを明らかにしました。

農業総合試験場が開発し、平成25年に普及を開始した新「卵用名古屋コーチン」に合わせて飼養管理マニュアルを改訂しました。この改訂版には、新「卵用名古屋コーチン」の標準性能のほか、低エネルギー飼料を用いた誘導換羽の方法や、

味覚センサーで測定した卵黄の味覚の特長など最新の技術や情報を追加しました。

改訂版は、当場のホームページからダウンロードできます。

(<http://www.pref.aichi.jp/0000017970.html>)

(畜産研究部)